

令和6年度 第2回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会

日時 令和6年10月28日(月) 午後1時30分
会場 大会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議事項

- (1) 地域移行マネジメント支援の業務報告について
- (2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況
- (3) まつチャレのロゴマーク募集結果について
- (4) 運動系部活動の各競技団体の現状及び取組み状況について
- (5) 文化系部活動の地域移行の状況について

4 その他

5 閉会

令和6年度 部活動地域移行プロジェクト 体制表

●部活動地域移行検討協議会 9名（年4回開催）

役職	職名	氏名
会 長	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授	新井 喜代加
副会長	市スポーツ協会事務局長	横内 俊哉
委 員	中学校長会代表（丸ノ内中学校長）	宮下 昌史
	中学校長会代表（開成中学校長）	中川 由香里
	P T A連合会副会長	常田 光弘
	P T A連合会副会長	小林 珠美
	（株）松本山雅	柄澤 深
	芸術文化振興財団理事長	青山 織人
	公民館長会会長（安原地区公民館長）	藤野 一男

●部活動地域移行検討協議会参加メンバー 19名

役職	職名	氏名
オブザーバー	信州大学教職支援センター准教授、松本市教育顧問	荒井 英治郎
会 員	教育長	伊佐治 裕子
	教育次長	赤羽 志穂
	教育監	坂口 俊樹
	教育政策課長	小西 えみ
	学校教育課長	清沢 卓子
	学校施設担当課長	西澤 弘
	生涯学習課長	廣田 圭男
	文化観光部長	小口 一夫
	文化振興課長	清澤 明子
	スポーツ本部長	大島 良司
	スポーツ事業推進課長	山本 茂
	住民自治局長	逸見 和行
	地域づくりセンター長	勝家 隆
事 務 局	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	指導主事	高山 智史
	課長補佐	降旗 基
	主査	竹内 賢
	主査	千賀 康孝

●協議会ワーキングメンバー 14名

所属課	職名	氏名
学校教育課	課長補佐	横山 盛雄
	係長	堀金 孝志
	主事	篠田 大希
学校支援室	市総括コーディネーター	幅 誠一郎
	指導主事	高山 智史
生涯学習課	係長	上嶋 秀俊
	主査	浅井 勇太
文化振興課	係長	傘木 史仁
	主事	脇谷 絵梨香
スポーツ事業推進課	係長	齋藤 康治
	主事	中島 涼奈
事務局	課長補佐	降旗 基
	主査	竹内 賢
	主査	千賀 康孝

（１）地域移行マネジメント支援の業務報告について

スポーツデータバンク株式会社

01 まつチャレサポートデスクの開設

● まつチャレサポートデスクの開設と周知

WEBページ（各種届出・申請・問合せの受付）



まつチャレに関するよくある質問(FAQ)

INFORMATION

2024年9月30日 WEBサイトを公開しました。

まつチャレ サポートデスクとは

国のガイドラインや部活動地域移行推進計画など、松本市としての取り組みをご確認ください。

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

長野県地域クラブ活動推進ガイドライン
長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針

松本市部活動地域移行推進計画

サポートデスク開設周知のチラシ・ポスター

サポートデスク開設に伴い
WEBページをOPENしました。

さまざまなお問合せ・ご相談や各種届出や
申請を受付しておりますので、
WEBページをお気軽にご覧ください！

お問合せ・ご相談はこちら

松本市では、中学生のスポーツ・文化活動の“やってみたい！”を地域の皆さんが
支えるかたちで、部活動の地域移行を進めています。その中核を担うのが、まつも
と子どもチャレンジクラブ（＝地域クラブ、通称「まつチャレ」）です。

中学生が活動する 団体の方へ	生徒・保護者の方へ	学生・指導者の方へ
まつチャレとして、中学生の スポーツ・文化芸術活動を支えましょう	学校部活動の代わりに、まつチャレに 参加しましょう	まつチャレの指導者として、地域の 中学生を育みましょう
① クラブの立上げや運営に ついて相談できる	① WEBのまつチャレの一覧から 参加したいクラブをチェック	① 指導者人材バンクで、まつチャレ と地域の指導者をマッチング
② WEBでまつチャレの届出や 創設支援補助金の申請が可能	② まつチャレの活動について 相談できる	② 対象は18歳以上、WEBで 登録が完了
③ 書類の様式やFAQが充実	※参加は強制ではありません	※既にまつチャレのクラブに 所属する方は登録不要です

まつチャレサポートデスク電話問合せ ☎ 0120-979-0666
電話対応時間 / 平日・土日 9:00～17:00 (祝日対応外)
運営 / スポーツデータバンク株式会社

01 まつチャレサポートデスクの開設

● まつチャレサポートデスクの開設と周知

信濃毎日新聞

部活の地域移行でうちの子はどうなる？親やチームからの相談窓口を松本市が開設

2024/10/11 10:26

シェア × ポスト B1 ブックマーク

記事をクリッピング

紙面ビューアーで見る



■画像はイメージ

松本市教育委員会は中学校の部活動を地域や民間団体に委ねる「地域移行」に関する電話相談窓口「まつチャレサポートデスク」を開設した。保護者や団体、指導者の疑問や不安に対処し、より地域移行しやすい環境を整える狙い。

市教委は2025年度に休日のみ、26年度には平日を含めた全ての部活動を地域移行する計画。活動の受け皿となる地域クラブの総称を「まつもと子どもチャレンジクラブ（通称：まつチャレ）」とすることに決めている。

サポートデスクでは、地域クラブの立ち上げや運営の助言、指導者の紹介といった相談について、相談員が祝日を除く午前9時～午後5時にフリーダイヤル（電話0120-979-066）で応じる。合わせて市教委はサポートデスクの専用ホームページも開設し、専用フォームで相談や問い合わせを受け付けている。

また、市や市教委は地域移行の各種補助金制度を設けた。地域クラブ立ち上げ時の諸費用に充てられる「地域クラブ創設支援補助金」を1年目は上限10万円、2年目は同5万円を支給する。指導者向けとして「公認スポーツ指導者資格取得推進事業補助金」を2万円を上限に資格取得費の半額を補助する。所得が一定基準を下回る世帯の就学援助対象者がクラブに参加しやすいよう、年2万4千円を上限に補助する「地域クラブ活動参加者支援補助金」も設けた。

指導者向けとして「公認スポーツ指導者資格取得推進事業補助金」を2万円を上限に資格取得費の半額を補助する。所得が一定基準を下回る世帯の就学援助対象者がクラブに参加しやすいよう、年2万4千円を上限に補助する「地域クラブ活動参加者支援補助金」も設けた。

松本市公式Youtubeチャンネル



松本のシンカ【松本市公式チャンネル】 / Matsumoto City official

@matsumotocityofficial7635・チャンネル登録者数 6850人・497本の動画
長野県松本市の公式チャンネルです。24時間365日ライブ配信中。/ Official channel...さらに表示
youtube.com/channel/UC9WQ7F9DCC3PY6KVf1g/featured、全11件のリンク
チャンネル登録



部活動の地域移行【まつチャレ！】

松本のシンカ【松本市公式チャンネル】
チャンネル登録者数 6850人

チャンネル登録

25

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

共有

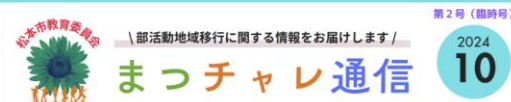
共有

共有

共有

共有

まつチャレ通信



みなさん、こんにちは！今回は、9月30日にオープンした「まつチャレサポートデスク」の設置にともない、「まつチャレ通信」臨時号をお届けします。
今年度、市が実施する支援策の大きな柱でもある「地域移行マネジメント支援」では、地域移行の専門家であるスポーツデータバンク㈱に業務を委託し、地域クラブの立ち上げや運営のノウハウを支援します。これにより、各クラブが自ら運営を担い、持続可能な地域移行の体制づくりを進めていきます。

NEW まつチャレサポートデスクを開設しました！！

地域移行に関する皆さまの疑問や不安にお応えし、スムーズな移行をサポートするために、「まつチャレサポートデスク」を開設いたしました。合わせて専用のホームページも開設しておりますので、ぜひご覧ください。今後、部活動の地域移行に関するご相談やお問い合わせは「まつチャレサポートデスク」にて承りますので、お気軽にお問合せください。

【受付内容】
・まつチャレし出し等に関するお問合せ・ご相談
・中学生・保護者の方のお問合せ・ご相談
・指導者登録等に関するお問合せ・ご相談 など
【連絡先】
・電話番号：0120-979-066（内容によって回答にお時間をいただく場合があります）
・ホームページアドレス：https://okinawa.sdb-group.co.jp/lp/matsuchalle-supportdesk/
・電話受付時間：午前9:00～午後5:00（祝日は受付ません）
・お問い合わせフォームは、24時間受け付けます

地域移行に向けて、安心して取り組めるよう、専門のスタッフが対応いたします。

地域移行に関するアンケート調査を実施しています！

令和7年度に休日部活動を、令和8年度に平日部活動を地域移行するにあたり、新しい地域クラブの設立・運営を含めた環境づくりに活かすため、現在アンケート調査を実施しております。前回、令和4年度に実施した調査から、児童生徒の皆さんの願いや、保護者の方々の思いが、どの程度変化しているかも調査します。調査結果は、令和7年1月頃に公開する予定です。

【アンケート実施期間】
・令和6年9月9日（月）から10月20日（日）まで
【調査対象者】
・市内の小学校5、6年生、中学校1、2年生の児童生徒ならびに保護者の皆さん、教職員
【回答方法】
・児童生徒の皆さんは、QRコードから1人1台端末にてご回答をお願いしています。
・保護者の方々は、9月11日（水）に校務支援システム（C4th Home&School）にて配信した本通知をご確認ください。

引用：信濃毎日新聞デジタル

● コールセンター対応状況

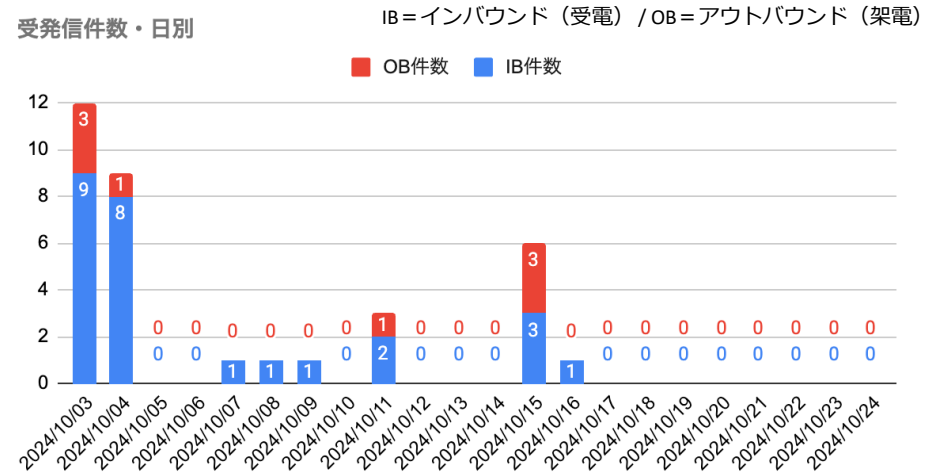
● サマリー

まつチャレサポートデスク電話問合せ ☎ 0120-979-066

電話対応時間 平日・土日 9:00～17:00（祝日対応外）

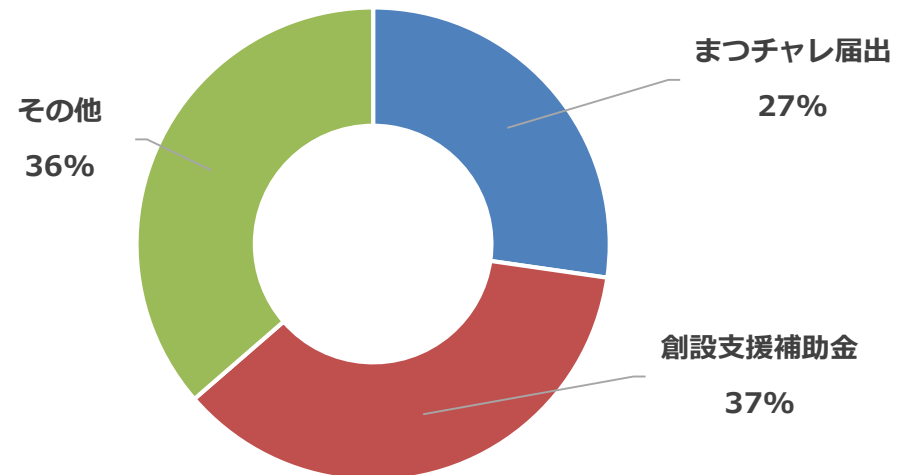
開始日	2024/10/03
期間	2024/10/24
受発信総数	34
インバウンド（受電）総数	26
アウトバウンド（架電）総数	8
平均通話時間（有効分）	0:06:06

受発信件数・日別



※10月3日は信濃毎日新聞・松本市教育政策課のみ（開通確認）

問合せ・相談内容

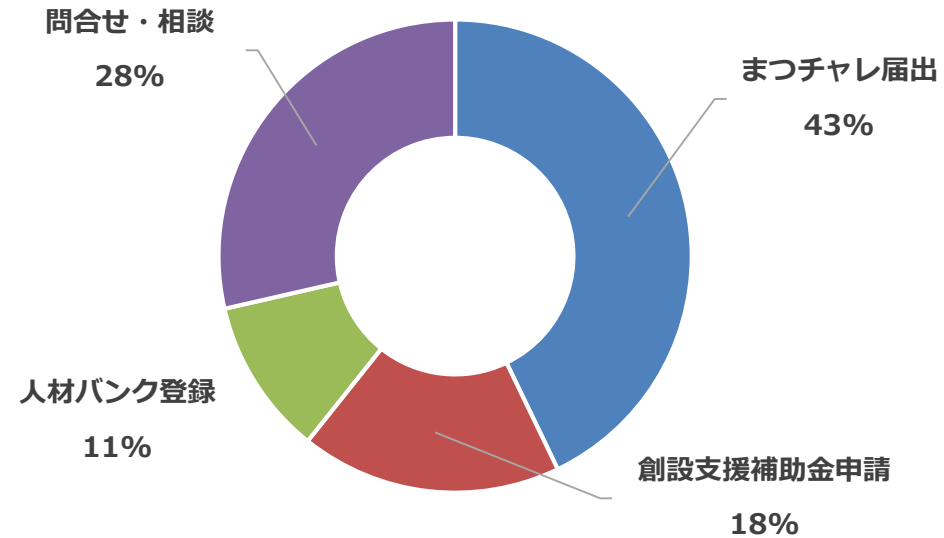


● 各種フォーム対応状況

● サマリー

開始日	2024/09/30
期間	2024/10/24
受付総数	29
[受付内訳]	
まつチャレ届出	12 スポーツ：10 文化・芸術：2
松本市地域クラブ創設支援補助金申請	5
人材バンク登録届出	3
お問合せ・ご相談	9

各種フォーム受付内訳



問合せ・相談内容

新規クラブ創設	・ 使用可能な施設を知りたい（ナイター設備のある施設含む）。また利用方法を知りたい。 ・ 指導者・スタッフへの謝金等の支払いの支給規定および会計処理（支払調書等）について教えて欲しい。
地域クラブ創設支援補助金	・ 補助金の対象（まつチャレ届出の関係性）と申請方法について知りたい
その他	・ 障害者への対応へのご要望

(2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2024/10/28

No.	分類	内容	課題提起 学保関	対応者	期限	対応	対応完了日
1	市としての理念	松本市としてのビジョンを（しかるべき人から）示してほしい。休日部活動の移行という観点からだけでなく、松本市として、スポーツや文化の活動をどのように捉えているか示してほしい。この長期展望からR5（R6も）の地域クラブ活動の目指す姿（当面の完成形）を示してほしい。	○	学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 教育政策課	2023/10/1 ↓ 2024/3/31 ↓ 2024/4/9 ↓ 2024/9/25	・国のガイドラインにおいても、各自治体における推進計画の策定が示されているため、今年度を目途に推進計画を策定し、目指す姿の周知を図ります。 ・推進計画を2月に策定し、概要版も作成しました。 ・小中学校の児童生徒、保護者に対して地域移行のリーフレットを作成し校務支援ツールから配信しました。 ・9月からまつチャレ通信を定期発行し、校務支援システム（C4th home&school）で配信しました。 ・9/25の市長定例記者会見で、松本市における今後の移行方針等を説明しました。	
3	協議会	協議会の議論の様子を定期的に共有してほしい。何が決まって、何が課題点なのかについて、現場レベルでは情報がない。校長会・教頭会等で教えてほしい。	○	教育政策課 学校支援室 スポーツ事業推進課	2023/6/30 ↓ 2023/10/1 ↓ 移行完了まで	<2023/6/15> ・市ホームページに協議会のページを作成し、会議資料をアップロードしました。 <2023/7/19> ・野球合同部活動の状況について校長会に説明しました（オンライン）。 <2023/10/10> 市長記者会見にてモデルケースの進捗状況等について報告しました。 市HP内に部活動地域移行のまとめサイトを作成しました。 <2023/10> 校長会の幹事会及び校長会の中学校部会において、進捗状況を報告しました。 <2023/12> 公民館長会にて、地域移行の概要について説明しました。 <2024/1> 校長会幹事会及び校長会において、進捗状況を報告しました。 <2024/4> 校長会幹事会及び校長会において、今年度の予定を報告しました。 <2024/8> 校長会幹事会及び校長会において、まつチャレ通信の発行、ロゴマークの募集について報告しました。 <2024/9> 校長会幹事会及び校長会において、アンケートの実施、ICTを利用した地域移行支援アプリの実証について報告しました。	
5	指導者	希望する教員が地域クラブ指導者となり、希望しない教員が関わらないで済む体制をお願いしたい。	○	学校教育課	2024/3/31 ↓ 2024/10/9	<2023/7/28> 学校関係の協議会参加委員から校長会を經由して各校へ周知します。 <2024/1> 校長会において、学校側の地域移行の具体的な進め方について説明し、今後、兼職兼業を希望する教員がどのように関わっていくか提案しました。 <2024/10> 市PTA連合会主催の説明会に出席し、部活動地域移行の説明の中で、原則、兼職兼業届けは希望する教職員のみで、強制されるものではないことを説明しました。	

(2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2024/10/28

No.	分類	内容	課題提起 学保関	対応者	期限	対応	対応完了日
7	地域クラブ活動 の在り方	地域クラブ活動のガバナンスを担保する必要がある。指導者のハラスメント、異なる学校間で集まる生徒間のトラブルについても学校ではなく各地域クラブ活動で対応する必要がある。	○ ○	スポーツ事業推進課 学校教育課	2024/12/1	<2023/10> 指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。 <2024/6> 今年度はプロスポーツクラブのコーチによる指導者研修や教育委員会による教育的意義についての研修を実施する予定です。	
8	地域クラブ活動 の在り方	レクリエーション志向の種目などをはじめ多様な種目を体験できる地域クラブ活動が活発になるよう期待したい。	○ ○	教育政策課 スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課	2023/12/1	レク志向、競技志向については、各団体の活動方針によりますが、今後地域クラブ団体の一覧表を作成するにあたっては、クラブ団体にヒアリングを行い、表中に掲示できるよう検討します。 <2024/1> 中学生の受入れが可能な団体一覧を作成し、市ホームページに公開するとともに、学校と保護者の連絡ツール（C4th home&School）にて、情報配信を行いました。 <2024/9> 第2回中学校部活動地域移行プロジェクトチーム会議にて、中学生の受入れが可能な団体一覧を、より視覚的に紹介する「団体カタログ（仮）」の作成を提案し、現在募集中です。	
9	指導者の質	教員が大切にしてきた生徒個人の特性等に応じた指導は、これからも重要である。子どもと接する機会の少ない地域クラブ指導者の質を向上するために研修の機会が必要である。市として研修会を確保してほしい。	○ ○	スポーツ事業推進課 学校教育課	2024/9/30	<2023/4/1> ・本年度から、指導者の質・量の確保を目的に、公認スポーツ指導員資格者の取得に係る経費について補助金交付を行っています（令和5年度実績 コーチ1：7名、スタートコーチ：1名） ・また、指導者向けの研修会について、令和6年度の開催を検討しています。 <2024/6> 今年度はプロスポーツクラブのコーチによる指導者研修や教育委員会による教育的意義についての研修を実施する予定です。	
10	指導者の量	教員が「休日だけでなく、平日も指導に関わりたくない」という意思を表明する状況が予想される。休日も、まして平日の地域クラブ活動の指導者を確保することは困難である。一方で子どものスポーツや文化の活動の衰退は避けるべき。指導者を安定的に確保できる体制を手当てを含めて検討し、整えてほしい。持続的に関わることのできる指導者を確保するために人材バンク等の検討をお願いしたい。	○ ○	教育政策課 スポーツ事業推進課	2024/9/30	人材バンクについては、県教委が設置しているケースがほとんどですが、今後も県の動向や他の先進自治体の状況等も参考にしながら、よりよいマッチング方法について研究していきます。 市の職員が、平日の勤務時間内に地域クラブの指導者を希望した場合に、職免の対応が可能か、検討していきます。 <2024/6> 今年度、マネジメント支援業務委託の中で、指導者の人材バンクの仕組みについても検証する予定です。 <2024/9> 9/30にまつチャレサポートデスクを開設し、指導者人材バンク登録を開始しました。	
11	指導者の量	国は教員に支給されてきた教員調整額の見直しを図っているようだが、今後残業代が支払われることで、教員が平日の時間外に部活動指導を担うという方針があるのか。国の動向を教えてください。	○ ○	学校教育課	2025/3/31	国の動向を確認し、状況に応じて周知いたします。	
12	会費	地域クラブ活動への移行は、低廉な部費から高い月謝を支払うことへ転換されることが予想され、「やってみたい」活動を行えない生徒が一定数生じることが考えられる。低廉な月謝となるよう補助を検討いただくか、低廉な月謝となる地域クラブ活動を創設してほしい。そうでないと、スポーツや文化活動の衰退を招きかねない。	○	教育政策課 スポーツ事業推進課	2025/3/31	地域クラブの会費は可能な限り参加しやすい金額を設定することを推奨します。なお、経済的理由によって参加を諦めることがないよう、市では就学援助対象世帯に必要となる支援を検討します。	

(2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2024/10/28

No.	分類	内容	課題提起 学保関			対応者	期限	対応	対応完了日
13	送迎	今まで通学する中学校で練習が行われてきた。地域クラブ活動では活動場所は遠方になる可能性がある。周回バスなどにより、「やってみたい」を続けられるシステムを検討してほしい。			○	公共交通課	2025/3/31	・通学する学校以外が会場となる場合があり、保護者の送迎が必要となることもありえます。送迎距離が遠距離にならないよう、様々なエリアでの地域クラブの創設を促進します。 ・市の公設民営のバス路線等の活用を検討していきます。	
14	産学官の連携	体育館や文化施設を有する一般企業や、スポーツ関連企業、あるいは、近隣大学との連携により、地域に根ざすスポーツや文化の活動を醸成してほしい。	○			スポーツ事業推進課	2025/3/31	<2024/10> 指導者人材バンク登録では、学生も随時募集していますので、今後大学等へ周知していきます。	
15	第3者機関	部活動であれば、生徒間のトラブルや顧問の不適切な対応は、学校や教育委員会が指導管理してきた。今後地域クラブ活動を管理し、指導する機関が必要になるのではないか。		○	○	スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課 教育政策課	2025/3/31	適正な地域クラブ活動が実施されるよう、市が適宜、地域クラブの活動状況を把握し必要に応じて助言・指導を行います。 <2024/9> 9月議会の一般質問において、子どもの権利を侵害する事案に対し、権利条例に基づく調査を「こころの鈴」と連携して実施することを答弁しました。	
16	保険	地域クラブ活動への加入に際しては、子どもや指導者の怪我や事故への保障をカバーできる学校の共済保険と同等の保険への加入をお願いしたい。		○		学校教育課 スポーツ事業推進課 文化振興課 生涯学習課	2024/9/30	<2023/7/5> ・学校を由来とする地域クラブ活動に対しては、スポーツ安全保険への加入を推奨しています。 <2023/7/5> ・スポーツ安全協会に保険の案内用パンフレットの送付を依頼しました。 <2024/9/30> まつチャレの届出要件に、保険の加入についても明記しました。	
17	施設・用器具	地域クラブ活動が学校施設を借りられないと活動できない。中学生が所属する団体には学校施設の優先利用をお願いしたい。そのための学校開放を検討してほしい。その際、校舎に入らなくてもよい外トイレの充実や、ナイター整備も検討願いたい。また地域施設も同様に検討願いたい。	○			学校教育課施設担当	2025/3/31	学校施設の優先利用を検討します。また、体育館トイレが外部から使用できるよう検討します。ナイター設備は、地域住民との調整や費用も多額にかかるので、整備に時間がかかります。既存の施設の利用をお願いします。	
18	施設・用器具	たとえば吹奏楽では、楽器を保管でき、素早く練習を行うことのできる学校の音楽室の利用が期待される。この場合、地域クラブ活動が利用できる学校開放の在り方が求められる。具体的には、地域指導者が利用可能となるよう施錠等の在り方を検討する必要がある。			○	学校教育課施設担当	2025/3/31	学校職員以外の人が校舎の中に入れるよう、機械警備の方法を検討します。	
19	施設・用器具	平日や休日の学校施設開放に学校が関わらない仕組みを作ってほしい。	○	○	○	学校教育課施設担当	2025/3/31	学校施設の貸出ですので、全く関わらない仕組みはできません。	
20	施設・用器具	部活動では消耗品や備品として整備され利用できた用器具（デジタルタイマーやボール、楽器など）を地域クラブ活動は利用可能か。利用できる体制が必要だと思われる。	○			学校教育課施設担当	2025/3/31	サッカーゴールやバレーボールの支柱等は従来どおり貸出します。ボール等の消耗品は、クラブで用意していただきたい。デジタルタイマーや楽器の貸出しは学校と協議したい。	
21	指導方針	当面、平日と休日とで異なる指導者が指導するため、指導の方向性が異なると混乱する可能性がある。またどちらの団体で大会に出場したらよいかを迷う。	○	○	○	スポーツ事業推進課	2025/3/31	<2023/11> 大会への出場については、所属クラブの選択と同様に、子どもたちの主体的な選択として、自分で判断し決めてもらうものです。	
22	兼職兼業による指導の混乱	兼職兼業が許可された教員が、平日は部活動の野球を指導し、休日は地域クラブ活動のサッカーを指導している。休日に中体連大会と地域クラブ活動の大会とが重なった場合、どちらを優先する必要があるか。本務は学校であることから部活動を優先することは理解しているが、一方で地域クラブ活動の醸成を目指す際には、この問題がクリアにならないと足かせになる。可能であれば、このような問題をクリアするために休日のみならず平日の部活動の廃止を検討してほしい。	○	○	○	学校教育課	2025/3/31	平日の部活動については、大会の出場要件や種目、地域の実情によっても移行状況が異なるため、令和8年度以降、準備が整い次第移行することを目指して取り組みます。	

(2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2024/10/28

No.	分類	内容	課題提起 学保関	対応者	期限	対応	対応完了日
23	特色ある地域クラブ活動	活動自体を楽しむレクリエーション志向の地域クラブ活動を増やしてほしい。競技志向すぎると入ることにハードルが高くなると思われる。様々な活動を整備してほしい。	○	スポーツ事業推進課 生涯学習課 文化振興課	2025/3/31	レクリエーション志向のものも含め、受け皿となる団体との調整を進めているところです。	
24	地域クラブ活動の在り方	新規に地域クラブ活動の団体を設立したいが、どうしたらよいだろうか。	○	スポーツ事業推進課 生涯学習課 文化振興課	2024/9/30	<2023/8/8> ・地域クラブ設立に伴う具体的な要件等について、担当課で詳細を検討しています。 <2023/10/23> 教職員向けの現行部活をクラブ化する場合の流れについて案を作成し、校長会の中学校部会において説明しました。 <2024/6> 松本市地域クラブの要件を本年度定める予定です。策定次第、地域クラブの登録方法等を広報等で周知いたします。 <2024/9> 9/30に開設したまつチャレサポートデスクにて、新規クラブ立ち上げのための相談を受け付けます。	
26	県の財源	休日の部活動には、部活動手当が支給されていた。地域移行が進み、顧問が指導しなくなれば、県はこの財源をどのように活用していくのか。この財源が地域クラブ活動への補助となるか。	○	教育政策課	2025/3/31	<2023/8/1> ・部活動手当とは関係なく、国として地域クラブ活動への新たな補助制度を検討しているようですが、詳細は未定です。	
27	地域特性	山間地の部活動をどのように移行するのか。山間部の学校の生徒の「やってみたい」を実現するために、送迎の問題を含めて検討してほしい。	○	教育政策課	2025/3/31	山間地においては、移動に要する時間的なロスが大きいため（特に平日）、ICTを活用したリモートコーチング等も視野に検討していきます。 <2024/6> 本年度、ICTを活用した指導（AIスマートコーチ）について実証を行います。	
28	地域クラブ活動の在り方	様々な事情を抱えた子のフォローなど、学校が関与せずにできる仕組みを構築してほしい。	○	学校支援室 スポーツ事業推進課	2024/3/31		
29	指導者	ボランティアでは継続性がない。兼業兼職の謝金は市でなんとかしてほしい。	○	学校教育課 教育政策課	2024/3/31	地域クラブの指導者はボランティアを前提とせず、必要な謝礼を受け取りながら活動の継続性を高めることが必要と考えます。移行期間中の謝金については、国および県の動向を確認しながら、検討していきます。	
30	市としての理念	種目、場所、時間を子どもが選択できるが、選んだ責任は選んだ側にあること(自己責任)であることを市からしっかり保護者に説明してほしい。	○	学校支援室 スポーツ事業推進課 文化振興課	2024/3/31		
31	市としての理念	地域移行について、全ての種目の保護者に保護者説明会を開いてほしい。	○	学校支援室 スポーツ事業推進課 文化振興課	2024/3/31	<2024/1> 学校からの要請に応じ、順次保護者説明会にて地域移行の説明を実施しています。	
2	推進日程	本当に部活動の移行は行われるのか。いつから部活動がなくなる、ということ明言してほしい。覚悟が決まらない。令和8年度の移行に向けて、令和5年度は何をするのか。具体的なスケジュールを示してほしい。	○	教育政策課 学校教育課	2023/10/1 ↓ 2024/2/29	<2023/6/15> ・松本市議会6月定例会の一般質問において、令和7年度末までに地域移行を完了する旨答弁しました。 ・具体的なスケジュールについては、現在作成中の推進計画策定後（2月頃）に提示します。 ・推進計画に、休日部活動は令和7年度までに、平日部活動は令和8年度に移行することを目指して取組みを進めていくことを明示しました。	2024/2/29
4	協議会	どのようなルートで情報は周知され、どこが課題点を検討するのか。どこが何をするのか、という協議会の持ち方を明らかにしてほしい。	○	教育政策課	2023/6/30	<2023/8/1> ・関係者会議で各課の課題を協議し、移行検討協議会で承認いただいた後、市ホームページや各種説明会等での周知を行います。	2023/8/1

（２）令和６年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況（課題管理表）

2024/10/28

No.	分類	内容	課題提起 学保関	対応者	期限	対応	対応完了日
6	競技会等の在り方	中体連以外の競技会運営にも教員が関わっていたが、今後、指導を希望しない教員が増えることが予想される。運営スタッフの不足を補充するアルバイト等を募集すれば、結果的に参加費の高騰を招く可能性がある。競技会等の在り方を検討する必要があるのではないか。	○	スポーツ事業推進課	2023/12/1	<2023/11> 地域移行プロジェクトチーム会議で、大会の運営体制の在り方等について、各競技団体へ検討をお願いしていきます。	2023/12/1
25	部活動の在り方	学校は、今後入学する生徒数を勘案して、部活動の存続や他校への委任指導、合同部活動など、部活動の在り方を検討しはじめてよいか。部活動を廃部とすれば、他の部活動の人数が増える偏りが生まれる可能性もある。同様に他校との調整を図る必要はないか。学校として動きたいが、どのように動いたらよいか教えてほしい。この検討の際、学校間のみならず競技協会、中体連等との連携をお願いしたい。また拠点校部活動についても同時に検討願いたい。	○	学校教育課	2023/12/1	<2023/7/5> ・今後の入学者数を長期的に捉えて、部活動数の適正化を図る必要があります。委任指導や合同部活動を許可する校長会が主導することとなります。 ・拠点校部活動はあくまで部活動の枠組みとなるため、本市では実施を検討していません。拠点校を構成したとしても、地域移行を進めるために、その拠点校の地域移行を再度検討する負担が生じます。また拠点校部活動を指導する指導者は、異動が前提となる学校職員であることを考えると、持続的に関わることのできる指導者を確保できない可能性があります。また指導を希望しない教員が指導を行わざるをえない可能性も払拭できないものと思われます。	2023/7/5

(3) まつチャレのロゴマーク募集結果について

1 趣旨

令和6年9月1日から10月15日の45日間にわたり、市内在住の小中学生の児童生徒を対象にロゴマークを募集したところ、45点の応募がありました。このたび、事務局員にて一次審査を行いましたので、審査結果について報告するものです。

2 経過

R 6.	9.	1	まつチャレのロゴマーク募集開始
		3 0	応募数が少ないため募集期間を延期
	1 0.	1 5	ロゴマーク募集の締め切り
		1 6	一次審査実施（事務局員）
		2 2	一次審査集計

3 応募結果

- (1) 応募総数 45点（応募者数36名）
- (2) 学年区分 小学生11名、中学生25名

4 作品一覧

別添のとおり

5 一次審査結果（事務局員15名による採点）

採点者：①赤羽教育次長、②逸見住民自治局長、③小西教育政策課長、④西澤学校教育課施設担当課長、⑤山本スポーツ事業推進課長、⑥降旗教育政策課長補佐、⑦幅市総括コーディネーター、⑧高山学校支援室指導主事、⑨上嶋生涯学習課長補佐、⑩齋藤スポーツ事業推進課係長、⑪傘木文化振興課係長、⑫竹内教育政策課主査、⑬千賀教育政策課主査、⑭脇谷文化振興課主事、⑮中島スポーツ事業推進課主事

【上位5作品】



6 今後の予定

- (1) 事務局で選定した上位5作品について、11 月中に地域移行検討協議会の委員により採点を実施し、最も得点の高い作品を最優秀作品とします。
- (2) 最優秀賞に選ばれたロゴマークは、デザイナーと協力してデザインの最終調整を行います。今後、まつチャレの公式ロゴマークとして、ウェブサイトやSNS、広報紙などを通じて、ロゴマークの認知度を高めていきます。
- (3) 後日、最優秀賞の授賞式を行い、お披露目式を実施する予定です。
- (4) ロゴマークの使用について定めたガイドラインを作成し、ロゴの色、サイズ、レイアウトの制約等、正確に使用してもらうための体制を整えます。



No.1



No.2



No.3



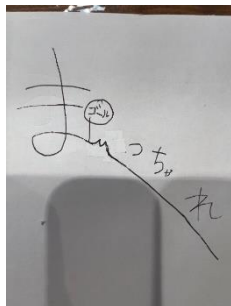
No.4



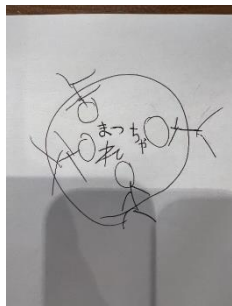
No.5



No.6



No.7



No.8



No.9



No.10



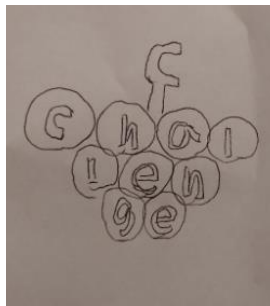
No.11



No.12



No.13



No.14



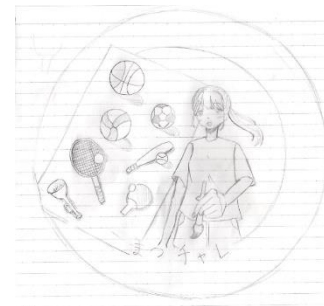
No.15



No.16



No.17



No.18



No.19



No.20



No.21



No.22



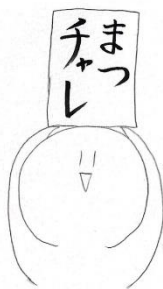
No.23



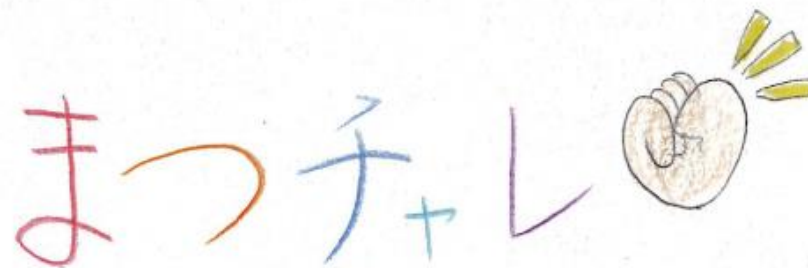
No.24



No.25



No.26



No.27



No.28



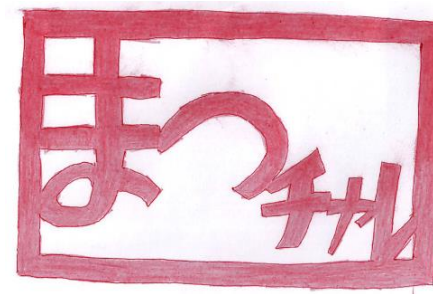
No.29



No.30



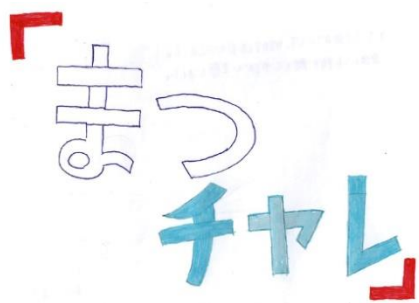
No.31



No.32



No.33



No.34



No.35



No.36



No.37



No.38



No.39



No.40



No.41



No.42



No.43



No.44



No.45

(4) 運動系部活動の各競技団体の現状及び取組み状況について

競技種目	現状及び取組み内容
陸上競技 (松本市陸上競技協会)	○協会主導で「まつもとTFC」を立上げ(市内中学校12校179人が加入) ・主に梓川中、鉢盛中で実施 ・指導・運営は教員が主なので、一般協力者の確保が課題 ○平日移行に向けて、競技団体内で検討を開始
ソフトテニス (松本市ソフトテニス協会)	○既存クラブの「松本市少年ソフトテニスクラブ」が競技志向型の受け皿として、普及・育成を開始 水・木・金：17:00～21:00 約50人参加 ○休日は、協会主催のジュニア教室への参加を呼びかけ(教員以外の協会員が指導) ○夜間(月：19:10～20:30)は、「総合型地域スポーツクラブskipまつもと」への参加を呼びかけ
バレーボール (松本バレーボール協会)	○昨年、協会主導で「やまびこクラブ」を立上げたが、教員が運営しているのが現状。現在、協会内にプロジェクトチームを設置し、協会員による運営方法等を協議・検討している。
バスケットボール (松本バスケットボール協会)	○協会主催のバスケットボール教室を継続実施(1回/月：1～3月) ・初級・中級・上級に分かれて指導。教員が指導しているので、一般の指導者確保が課題。 ○熱意のある保護者が新規クラブを立上げたケースあり(サンズバスケットボールクラブ：山辺)
卓球 (松本卓球連盟)	○既存の9クラブに加え、新規クラブの立上げを促進(清水中学校区にスワンTTCが立上げ) ○南東部に既存クラブが無いので、受け皿のない地域に新規クラブの立上げを連盟として協議・検討している。
軟式野球 (長野県軟式野球連盟松本支部)	○5エリアの合同部活動を土台に、北東東部の「松本北東M-ONEクラブ」に加えて、新たに2エリアで地域クラブを立上げ(計3エリア) ・南部(菅野・信明・鉢盛)＝松本サザンベースボールスクール 教員が代表者となり、教員5名と地域指導者1名が指導 ・南東部(筑摩野・開成・明善)＝松本ベースボールクラブ(MBC) 部活動指導員が代表となり、教員3名と地域指導者1名が指導 ・市街地北部(鎌田・旭町)もクラブ化の動きあり ・西部(松島、梓川・波田)は、指導者がいないため、今のところクラブ化の動き無し
サッカー (松本市サッカー協会)	○協会としてクラブは立上げず、サッカー関係者へ地域クラブの立上げを打診 ・FC松本North United(旭町・山辺)保護者が代表となり、教員が指導する予定 ・筑摩野(準備中) ・清水・開成(準備中)
バドミントン (松本市バドミントン協会)	○既存の4クラブ(山鳩BC、チーム六等星、波田BC、すどう塾)やモデルケースで立上がった「まつもと城東バドミントンクラブ」等が受け皿となって活動 ○奈川中の部員は、既存の「チーム六等星」で休日活動
剣道 (松筑剣道連盟)	○連盟主導で既存クラブや剣道教室を中心に受け皿を整備中(10団体) ○連盟主催で、部活動に属さない中学生も対象にした大会を開催するなど、剣道に取り組む機会を提供 ・「夢・国宝松本城剣道大会」11/3

(5) 文化系部活動の地域移行の状況について

文化系部活動の現状と課題、今後の見通し

学校部活動	人数※	現在の活動	課題	今後の見通し、課題への対応
吹奏楽部	500 (18校)	・コンクール、アンサンブルコンテスト等の大会出場を目標に活動 (令和6年度実績:東海大会3校、全国大会2校出場) ・地区行事、市のイベント(OMFパレード等)での演奏 ・学校行事(新入生歓迎会、壮行会、文化祭)、市内吹奏楽祭での演奏 【教員以外の指導者】 部活動指導員2名、外部指導者1名、民間2名	・受け入れ可能な既存の楽団はあるが、コンクール等の出場を目指していない。 ・部活動がクラブ化されたとしても指導者が少ないため、今後も教員(顧問)の協力が必要 ・練習場所は学校が適所であるが、利用の際のセキュリティ対策、楽器貸与について課題がある。	・保護者会が主体となるクラブを創設し、入会 ・既存の楽団へ入会 ・顧問の兼職兼業の希望調査 ・部活動指導員、地域アスリートの意向調査(学校支援室) ・他校の生徒が学校施設、備品の利用を可能とする対応の検討(学校教育課施設担当) ・部活動地域移行を支援する中間組織の構築(文化振興課)
合唱部	72 (7校)	・NHKコンクール出場を目標に活動 ・地区行事、学校文化祭等での発表 ・休日にも練習あり(波田中のみクラブで活動) 【教員以外の指導者】 部活動指導員2名、外部指導者1名	・市内には既存の合唱クラブはあるが、コンクール等の出場を目指していない。 ・休日活動をクラブ化した波田合唱クラブは、他校の生徒受け入れ可能だが加入者が増えない。少人数でのクラブ化の経営は難しい。	・保護者会が主体となるクラブを創設し、入会 ・波田合唱クラブに入会 ・市内既存クラブへ入会 ・顧問の兼職兼業の希望調査
美術部	483 (13校)	・水彩画、油絵等の指導はほとんどいない。 ・イラストやアニメーション制作に生徒が自由に取り組んでいる。 ・文化祭のステージバックや装飾を担っている他、文化祭や地域への作品を出品、展示 ・イラストの公募等に自主的に応募 ・基本的に土日の活動はない。	・平日部活動がなくなった後、生徒たちの情熱の向け方(休日の活動には消極的) ・イラスト、アニメを指導できる人材や既存の教室が少ない。	・令和8年度活動停止 ・イラスト教室以外の活動(E-sports等)への受け入れ可能性を検討 ・地域での受け皿を検討。放課後の時間を有効に使うため、美術にこだわらない地域活動への参加を支援(生涯学習課)
演劇部	51 (3校)	・学校文化祭への出演 ・地域から依頼を受け、催し物での出演 ・公演日が近くは、土日練習もあり。	・部活顧問は、演劇の専門ではない。 ・地域に指導者が見つからない。 ・既存劇団で、中学生を受け入れている団体がない。	・令和8年度に活動停止 ・指導者を確保したうえで保護者会主体の演劇クラブ創設
技術部 科学技術部	81 (2校)	・エコカー、ソーラーカー等を製作し、大会出場 ・文化祭への出品、展示 ・基本的に土日の活動はない。必要に応じあり。 【教員以外の指導者】 部活動指導員1名(地域住民)	・指導者は専門知識を要する。 ・生徒たちの人気はあるが、それらに見合う受け皿が不足。 ・専用工具や試作実験等、活動(作業)する場所を確保したい。	・部活動と長野高専が連携し、理系人材育成の講座を開設 (技術科教員が講座の講師となるため、兼職兼業届は提出済み。)
文化部家庭科 コース	11 (1校)	・浴衣や小物の制作に自由に取り組んでいる。 ・学校文化祭で作品を発表 ・土日の活動はない。	・平日部活動がなくなった後、生徒たちのものづくりへの意欲の向け方(休日の活動には消極的)	・令和8年度に活動停止(令和7年度は、状況を理解したうえでの入部可) ・地域での受け皿を検討。放課後を有効に使うため、地域活動への参加を支援(生涯学習課)

※R6年度1～3年生。組合立を含む。国立、私立は除く。

